

第41号  
2020年2月

# 高梁市議会だより



## 第12回 議会報告会レポート

12月定例会

学童保育  
会計年度任用職員制度など

# 12月議会の焦点を解説





高梁商工会議所女性会との  
議会報告会

第12回議会報告会は、初日は大瀬八長町内会、2日目は高梁青年会議所・高梁商工会議所青年部・高梁市青年経済協議会の3団体合同、3日目は高梁商工会議所女性会、4日目は備北商工会女性部・青年部の皆様と実施しました。



# 第12回 議会報告会 レポート

## 開かれた議会のための 議会報告会

市民の多様な意見を的確に把握し、市政に反映させていくこと、また、開かれた議会となるために情報公開を進め、議会としての説明責任を果たしていくことは、議会が果たさなくてはならない責務です。議会報告会は、これらの目的を果たすため市民への報告と意見交換を行う取り組みであり、「高梁市議会基本条例」に開催が明記されています。

第1回から第11回までの議会報告会は、開催場所や時間、報告形式を工夫しつつ、延べ82会場で開催し、1544名の方にご参加いただきました。

議会からの報告に関しては、これまであまり質問が出ず、むしろ自由なテーマでの意見交換で活発な発言が出る傾向がありました。そこで、議会からの報告は15分程度とし、意見交換の時間を十分に確保するとともに、事前に意見や質問事項を伺

い、調査が必要な案件については調査をした上で意見交換に臨むこととしました。

## より多くの 参加者確保が課題

これまでの参加者は約8割が男性で、年代別では50代以上が約8割、そのうち60代以上が約6割と年齢層に偏りがありました。また、市街地の参加者が極端に少ないことも課題でした。

そこで、女性や現役世代、学生のほか、これまで参加する機会が少なかった地域や町内会にも参加していただくために、市内のさまざまな団体、グループ、町内会等を対象として議会報告会を実施することにしました。意見交換も、新たに(\*）ワールドカフェ方式やワークショップ方式のように、発言しやすく、意見や情報を共有できるような手法も取り入れていくこととしました。

## 市民生活に直結する 課題を報告

今回の議会報告会では水道料金や公共施設の使用料のように、市民生活に直結することを取り上げ、議案として提案された背景や審議経過を説明しました。

水道事業については、国の方針に基づく簡易水道事業と上水道事業の統合により、市内の水道料金の統一に向けて、基本料金の値上げが行われることや、水道事業の財源確保のために議会も活動していくことなどを説明しました。

行財政改革については、今後の人口規模や限られた資源の中で市民ニーズに 대응していくためには不可欠であり、その取り組みの一つとして公共料金の見直しを実施されていることを説明しました。



3団体合同の  
議会報告会

## 大瀬八長町内会

八長コミュニティハウスでは、35名の参加がありました。地区内の市道が被災し、復旧や防災対策が必要であるため、今後の工事予定や、避難ルート、避難場所について質問がありました。議員からは、平成30年7月豪雨災害からの復旧工事に長い期間を要したが完成したこと、報告があり、現在は他の箇所、調査や工事を進めていること、避難については市担当課を交えて自主防災組織で協議してはどうかとの意見がありました。

## 3団体合同 (高梁青年会議所 高梁商工会議所青年部 高梁市青年経済協議会)

高梁市役所会議室を会場として、18名の参加がありました。人口減少対策や定住対策について力を入れるべきとの意見について、議員から空き家活用や不動産への課税の見直しも必要

ではないかとの意見がありました。

企業誘致に関して、本市が災害の少ない安全な地域であることとを売りに受け皿を設けるべきとの意見があり、議員からはITに強い人材確保とともに、インフラ整備はこれからの課題であるとの意見がありました。

参加者アンケートでは、議員は参加者の提言を聞いていない、一方的な説明で参加者が話せる雰囲気ではなかったとのご意見もいただきました。

## 高梁商工会議所女性会

高梁商工会議所の会議室で16名の参加がありました。

稼働率の低い市内の大型施設は再考すべきとの意見があり、議員からは今後指定管理者制度により、民間の手法を取り入れることも進めているとの報告がありました。

災害対策に関しては、新成羽川ダムの事前放流、河川しゅんせつ、災害復旧情報を保存すべ

きとの意見がありました。議員からは、事前放流は決定している。河川しゅんせつについては残土置き場不足が課題で、記録の保存については執行部に伝えると答えがありました。

## 2団体合同 (備北商工会女性部、青年部)

備北商工会会議室を会場に14名の参加がありました。

参加者からは、労働力不足解消と若者の地元就職のために、市主催の就職説明会を開催すべきとの意見がありました。議員からも、求人情報のPR不足を感じているとの意見がありました。

また、限界集落についても質問がありました。議員からは、住民がいる以上行政サービスを継続したい。町内会の維持が困難な場合については町内会の合併などを呼びかけているが、依然合併する町内会は少ないとの報告がありました。

## 議会報告会・意見交換会の 参加団体を募集します

### 対象

高梁市内に所在し活動する団体等  
(例：町内会、地域コミュニティ、PTA関係、商工団体など)

### 開催日時、意見交換のテーマ及び方法

申込み団体と協議します

### 開催時間

1時間半程度

### 開催人数

おおむね10人以上

### 応募方法

申込書に記入して議会事務局へ提出してください

### その他

公平性の確保のため、同一団体との開催は年1回とさせていただきます

### お問い合わせ

高梁市議会事務局  
0866・21・0276  
高梁市松原通2043  
高梁市役所5階





# 支援員待遇改善のための学童保育料値上げは是非か!?



令和元年12月4日から12月23日まで令和元年12月定例会が開催されました。追加議案を含む市長提出の議案40件全てを原案どおり可決しました。また、団体などから議会に寄せられた請願については1件を採択、5件を不採択としました。今定例会から議案質疑にも事前に質疑の通告を出すことになり、より詳細で正確な答弁が得られるようになりました。

## 子育て世帯の味方「学童保育」を存続させるためには?

学童保育に通う子どもたちは年々増え続けており、全国的にもさまざまな問題が生じています。その一つが支援員不足です。離職者が絶えず、慢性的に不足している支援員を確保するためには支援員の処遇改善が必要です。高梁市では支援員の処遇改善のため、学童保育の利用率を引き上げたいと提案がありました。

### 受益者負担は本当に必要か?

議会では「説明会を行ったのか。利用料金の引き上げで支援員不足が改善できるのか。もし支援員が確保できなかったらどうするのか。段階的に値上げするなどの緩和措置は取れないのか」などの質問が出ました。執行部からは、全ての学童保育で説明会を行った。処遇改善のための値上げであり、誠心誠意努力し人材確保に当たるといった答弁がありました。

### 指導員不足や学童保育環境の充実のため料金改定

今回、議論の中心となったのは、保護者の急激な負担増と受益者負担の観点でした。市民生活委員会では、「議員も執行部も保護者も思いは同じ。学童保育の環境整備と職場改善、そして持続可能な高梁市の学童保育を築き上げることである」といった議論がなされました。

その結果、議案は賛成多数で可決されました。市民生活委員会として、学童保育の運営について引き続き調査研究することとなりました。

(参考) 近隣市の学童保育利用料の状況

倉敷市	5,000～12,000円
総社市	7,000円
新見市	6,500円
井原市	3,000～5,000円

(参考) 高梁市の利用料新旧比較

	旧料金	新料金
1～7、9～12月	3,600円	5,400円
8月	8,000円	12,000円



高梁児童クラブでの餅つき

この議案に対しては、地域によって保護者の受け止め方に違いがみられました。保護者の声や地域の実情を訴えるべく、定例会においても一般質問、議案質疑、委員会でもさまざまな観点から議論が交わされました。

## 高梁市成羽複合施設完成へまた一歩

平成28年11月の議会全員協議会において、成羽地域の公共施設が軒並み老朽化が進み耐震性に問題を抱えるとともに、分散していることで市民の利便性が大きいに損なわれているとして、公共施設の再編整備の基本的な考え方が示されました。3年後の平成31年1月には起工式が執り行われ、工事も順調に進み、施設完成まであと半年となりました。

今定例会には、「高梁市成羽複合施設条例」や、公共施設の廃止、移転に関わる8議案が上程、審議され、可決されました。

高梁市成羽複合施設は令和2年6月に完成し、8月にこけら落としの予定です。



完成予想図

現在は建設中

### 既存施設を集約

成羽地域局	高梁市成羽文化センター	旧社会福祉センターホール
高梁市成羽歴史資料館 成羽民俗資料館 高梁市成羽神楽館	高梁市立成羽図書館	成羽観光案内所

## 会計年度任用職員制度について

現在、臨時的任用職員、非常勤職員と呼ばれている雇用形態に、「会計年度任用職員」という新たな形態が加わります。これまでは、採用される根拠が不明瞭だったり、全国の自治体で採用条件にばらつきがありました。これを是正するために「同一労働・同一賃金」の考え方に基づき、国が制度を新設しました。

議員からは、高梁市では非正規雇用の職員が4割を超えており、二度の行財政改革により、正規職員の減員で10億円削減できると言われている。しかし、非正規雇用は、いつ解雇になってもおかしくない立場であり、仕事に対する責任やスキルアップの機会がなく、やりがいを持ちにくい。市内経済を減速させる原因にもなり、定住対策と反する側面もあるという意見がありました。

現在フルタイムで勤務している約180人の非正規職員が、1日15分の労働時間短縮によってパートタイム勤務へと移行する。これは法律制定に当たり「新制度への移行に当たっては、不利益が生じることなく適正な勤務条件の確保」という国会の付帯決議に反することになり、市民サービス低下にもつながり、正規職員の負担も増えるとの意見もありました。

これに対して執行部からは、制度導入に当たり、各職場に職務内容の整理のため聞き取りを行い、シフト体系の見直しを行った。正規職員が責任を持つて対応するので影響は出ない。10億円の人件費削減では今後の歳入不足をまだカバーできていない。職員のスキルアップのための研修を重ねていくという答弁がありました。

(\*) 会計年度任用職員…全国で急増する非正規職員の任用を適正に行い、勤務条件を全国的に統一するための新制度。



# 全員協議会



朝霧温泉ゆ・ら・ら 休館のお知らせ

令和元年11月7日、議会全員協議会が開催され、①旧朝霧温泉ゆ・ら・ら施設公募に関わる募集要項、②会計年度任用職員制度の導入、③「高梁市復興計画」の進捗状況、④幼児教育・保育無償化に関する状況報告及び学童保育保護者負担金の見直し、⑤高梁市文化センターの指定管理者の募集について、執行部から報告がありました。

平成30年の西日本豪雨災害により中断していた施設売却に関する公募がありました。これまでの報告がありました。これまで「朝霧温泉ゆ・ら・ら」調査検討委員会や高梁市議会からの提言を受け、従来の設置目的にとらわれず、地域経済の活性化、雇用の創出、持続可能な事業の立地を目的に、民間事業者から広く自由で柔軟性のある企画提案を（\*）公募型プロポーザル方式により求めることとなりました。募集条件としては、例えば譲渡価格については基準価格から修繕・取替費用または解体撤去費用を差し引くことができ、また、事業用定期借地権の他に一般定期借地権も認められることとなり、介護施設などの提案も可能になりました。



有渡川と高梁川の合流地点の復旧工事

災害復旧事業については、災害復興住宅建設資金等利子補給補助金などの追加事業があり、事業費は23億円増の166億9000万円となりました。災害復旧事業（公共土木施設復旧、農林施設復旧、上下水道施設復旧など）の進捗状況については、平成30年度分の発注率は87・8%で、完了率は54・8%

旧朝霧温泉ゆ・ら・ら施設公募に関する募集要項について

「高梁市復興計画」の進捗状況について

高梁市文化センター指定管理者募集について

現在、高梁市文化センターは教育委員会が管理していますが、令和元年9月定例会で「高梁市文化センター条例の一部を改正する条例」が可決されたことにより、今後の管理を指定管理者に行わせることができるとなりました。そこで今回、高梁総合文化会館及び高梁市文

(\*）公募型プロポーザル方式… 建築や運営などで、企業からの提案を評価し、適正な能力を有しているかを総合的に判断する選定方式。

## 請願の審議結果

本議会では6件の請願が審議されました。1件は全員一致で採択、残りの5件は賛成少数により不採択となりました。

### ● 石部誠議員の討論

5、6号の看護師、介護従事者の全国を対象とした最低賃金の新設を求める請願について、看護、介護の従事者は低賃金・過重労働により慢性的な人員不足であり、安心安全の医療介護環境のためにも採択を求める。

7号の「国民健康保険の子どもにかかる均等割り保険料（税）減免措置の導入を求める国への意見書の提出について」は、高すぎる国保税の軽減が必要であり採択を求める。

8号「被災者生活再建支援制度」の拡充を求める請願については、災害によりまさに自宅に戻れず、生活再建がままならない方の支援が必要であり、採択を求める。

9号の「会計年度任用職員制度施行に伴う公務公共サービス」の拡充と自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める請願については、本市の4割を超える非正規雇用職員に対して、新制度移行により不利益が起きないようにすべきであり採択を求める。

### ● 伊藤泰樹議員の討論

4号の「自立支援医療、（精神通院）入院を加える改善及び、岡山県の心身障害者医療費公費負担制度の対象者に精神障がい者を加えること」を

求める「意見書の提出を求める請願書」は、知的と身体しう害については自立支援法で入院が公的負担に一元化されたが精神障害者のみ扱いが異なり、採択を求める。

5、6号については「看護師、介護従事者の全国一律の最低賃金を全国一律にしても最低賃金を全国一律にしても安心安全の医療介護体制の確立や地域の賃金格差は解消しないので不採択を求める。

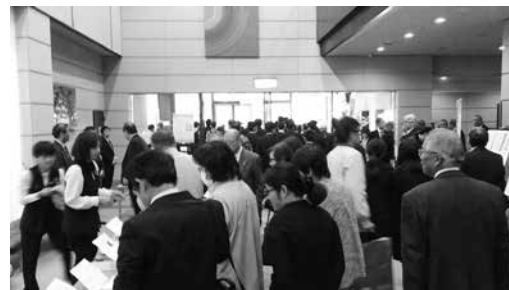
8号については、被災者への手厚い支援は必要だが、500万円の支援金の引き上げ、支援金の一部損壊家屋への適用など個別事項には賛同できず不採択を求める。

## 12月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

件名	○ 賛成 ● 反対															
	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	宮田好	森田	倉野	川上修	宮田公	川上博	大月
高梁市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市下水道事業の設置等に関する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市学童保育条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険の子どもにかかる均等割り保険料（税）減免措置の導入を求める国への意見書の提出について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「被災者生活再建支援制度」の拡充を求める請願	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計年度任用職員制度施行に伴う公務公共サービスの拡充と自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める請願書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は裁決に加わりません  
※他の議案は全会一致で可決しました





文化交流館の2館からなる高梁市文化センターの管理者の募集について説明がありました。

議員からは「地域住民の文化の向上と交流の推進という設置目的は民間に託しても達成することができるとか」、「経費削減効果はどの程度の見込みか」、「募集要項を議会に示すべきではないか」と質問がありました。

これに対して教育委員会からは、「民間委託しても教育委員会が具体的な方針を出すことに変わりがないし、条例上設置目的や業務は明確になつている」、「効果はあると思うが、経費については指定管理者となる業者によって差があるので現時点では明確でない」、「募集要項の原案はできているが、議会のご意見も聞いた上で最終形を決定したい

と考えている」との答弁がありました。

**幼児教育・保育の無償化に関する状況報告及び学童保育保護者負担金の見直しについて**

幼児教育・保育の無償化について、10月1日から実施されています。そこで無償化後の状況について説明がありました。3歳から5歳の幼児教育・保育などは無償となりましたが、給食費については、高梁市では無償化以前は給食費と保育料を合わせて減免していたのに対して、無償化後は国の基準により保護者から徴収することとされたため、かえって保護者負担額が増える事例があり、個別に理解を求めたとの説明がありました。(学童保育保護者負担金の見直しについては、本誌4ページにまとめています。)



**管内視察 産業経済委員会 復旧は進んでいるのか? 現場を確認**

10月28日

産業経済委員会は西日本豪雨災害の復旧状況を調査するため、令和元年10月28日に管内行政視察を行いました。

高倉町田井肉谷地区の土石流被害箇所では、建設課と農林課から、県が約1億7000万円の事業費で治山ダム3基の整備などをし、市は約1億1000万円の事業費で林地災害復旧やがれき除去、被災家屋の解体・除去などの事業を行っています。被災された住民の方から「安心



高倉町田井の肉谷地区



河川しゅんせつ事業残土処分場 (松原町春木地内)

して暮らせるように早く整備してほしい」、「農地に土砂と流木が流れ込んでいて作付けができない」との切実な声を聴きました。

次に松原町春木、成羽町羽山、宇治町穴田の河川しゅんせつ事業残土処分場を視察しました。市内には約10カ所が用意され約33万㎡の土砂が処分できるとのことでした。特に処分場の周辺は、ダンブカーが頻繁に通るため安全走行に努めるよう指示しているとのことでした。

**ニュース**

**新会派「高梁政志会」を結成しました**

令和元年6月議会で党派制の導入が決まったことを受けて、新会派「高梁政志会」が結成されました。メンバーは5名で、会長は倉野嗣雄議員です。

**高梁市議会党派結成にあたり**

志を同じくする議員の集合体として、「高梁政志会」を会派名といたしました。今後の活動としては、市の政治課題解決および市政発展ため、会派での研究・提言に努めて参ります。高梁政志会一同



川上 修一 議員



倉野 嗣雄 議員



黒川 康司 議員



大月 健一 議員



森田 伸一 議員



**総務文教委員会 災害復興 RPAを視察**

10月30日・31日

福岡県朝倉市 熊本県宇城市

福岡県朝倉市は平成29年に豪雨で被災し、現在も復興のさなかです。朝倉市では、復興の状況や、防災の取り組みを視察しました。サイレンの鳴らし方で、現在出ている避難情報の段階を知らせたり、年間を通して出前講座を行うことで、市民の防災意識を高めるといった取り組みについて話を聞きました。

による業務のスリム化を図っています。業務を棚卸しして見える化した後、自動化できそうな部分に順次RPAを導入しており、今年度は7業務を人間に代わってコンピュータがこなしているそうです。高価なシステムのため、当初はそれほど経費削減効果は出ませんでした。自動化できる業務を増やしたことで効率的な行政運営ができるようになってきたそうです。



福岡県朝倉市での視察

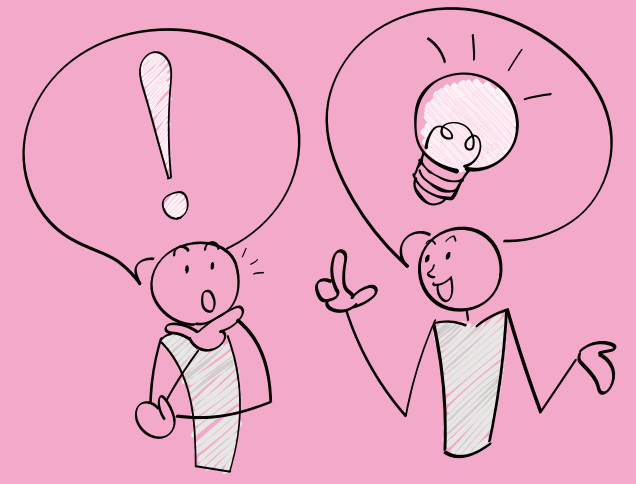


熊本県宇城市での視察

(\*) RPA…事務の定型作業を自動化し、パソコンで行うシステム。



# 一般質問



一般質問とは、議員個人が市政のさまざまな問題について執行部に質問をしたり、市政について提案を行う場です。どんな質問をするのかという趣旨を事前に伝える「通告制」を取っており、質問への答弁は一問一答方式で行います。今回は10人の議員が質問しました。

増加している外国人住民に、今後どのように対応するのか



**答弁：**  
次期総合計画の中で外国人と共生できる取り組みを計画したい

ここをききました **石田 芳生** 議員

- ・定住施策について
- ・外国人住民について
- ・業務改善、業務改革について

## 定住対策について

**石田** 議会報告会で、市街地不動産が高額であることや世帯向け賃貸住宅の不足が人口流出の原因ではないかという意見があった。財政的に厳しいが、宅地購入や賃貸住宅リフォームに重点的に予算配分すべきではないか。

**市長** 宅地購入や住宅新築への助成は新年度予算でも取り組む。学生向けアパートのリフォームへの助成は、建物の構造上の問題もあり取りやめた。

## 外国人住民について

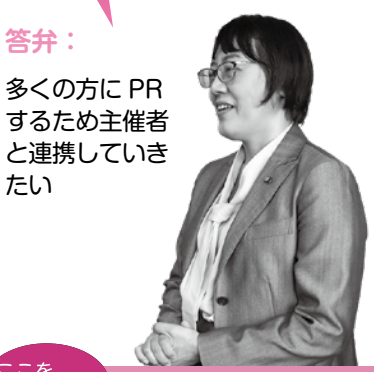
**石田** 平成31年4月より改正出入国管理及び難民認定法が施行された。本市でも平成30年10月からの

1年間で外国人住民が約150人増加しており、令和元年11月末現在で957人が市内で暮らしている。教育、留学生の就労、日常生活でどのように対応しているのか。

**教育長** 文部科学省からの通達で、義務教育についてはどの外国人に対しても無償で行い、通学支援もしている。

**政策監** 今回の改正により、日本の大学を卒業した留学生が特定活動ビザで就職できる範囲が拡大されており、吉備国際大学の卒業生もこれに該当する。外国人住民の日常生活における困りごとの原因は言葉の壁であると認識している。令和2年度には吉備国際大学とも協力して日本語教室の実施を検討する。

トレッキングなどアウトドアイベントの観光情報も市が発信すべき



**答弁：**  
多くの方にPRするため主催者と連携していきたい

ここをききました **石井 聡美** 議員

- ・ごみの減量化について
- ・市内公共施設の芝生化について
- ・観光施策について
- ・シティプロモーションについて

生ごみを減らすためのたい肥化について

**石井** 生ごみを減らすためにコンポストや生ごみ処理機への助成を再開できないか。

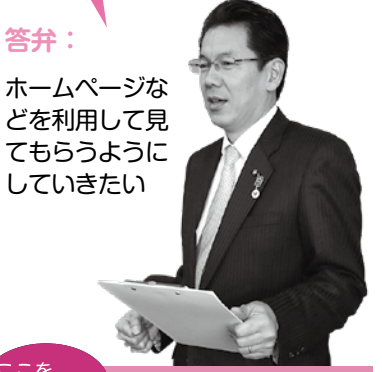
**市長** 以前検証したのはコンポストである。臭いや処理の問題があり助成をやめたが、再開は今後の課題だと思っている。食品ロスを出さないよう工夫していくことも大切なので、両建てで考えていく。

**石井** 生ごみ処理機のない肥を耕作放棄地などで熟成させ、花木の植樹など市内美化に使えないか。

**市長** 有漢給食センターでのたい肥化実証実験の結果を見て、生ごみからたい肥へ循環するシステムとして他地域へ広げていきたい。



学校の現状を教育委員会が定期的に保護者に発信すべきではないか



**答弁：**  
ホームページなどを利用して見てもらおうようにしていきたい

ここをききました **伊藤 泰樹** 議員

- ・本市における児童・生徒の不登校、いじめ、暴力行為について
- ・商業振興について

本市における児童、生徒の不登校、いじめ、暴力行為について

**伊藤** 不登校児童、生徒に対する対応は。

**教員長** 各校、日常的な支援のために教職員のレベル向上に取り組んでいる。さらに登校支援、やすらぎ教室、スクールカウンセラーによりさまざまな対応している。

**伊藤** いじめの認知件数が多いのではないか。

**教育長** 軽度なものも含めているので、他市より認知件数が多い。

**伊藤** 暴力行為の対応は。

**教育長** 研修への参加など人間作りに入れ、教員が自信をもつて取り組めるようにしている。

## 商業振興について

**伊藤** 商工業者向け各種補助金の上限額の増額はできないか。

**副市長** 来年度当初予算に向けて課題の一つとする。

**伊藤** 起業支援を拡充すべき。

**副市長** 最大限の努力を来年度予算に向けて行う。

**伊藤** 移住を伴う求人活動を行う企業への支援強化はできないか。

**産業経済部長** 検討する。

**健康福祉部長** 現在でも連携した例がある。相談の上、受け入れは可能なので積極的な取組みを期待している。



防犯機能付き電話機の補助制度を創設できないか

答弁： 有効な手段と考えられる。令和2年度予算で前向きに検討したい



ここをききました 平松 賢司議員

- ・特殊詐欺から市民を守る施策について
- ・核兵器禁止へより一層の取り組みを

特殊詐欺対策について

平松 市の相談窓口はどこか。また相談件数は。

市民生活部長 県への相談件数は平成30年度は33件だった。市の窓口は市民課で、相談件数は年間約10件である。

平松 被害件数、被害額、詐欺の内容、市民への伝達手段は。

市民生活部長 市内の特殊詐欺被害の認知件数は平成28年度から30年度は0件、本年は1件で被害額は1305万円であった。市からのメールでお知らせしている。

核兵器禁止について

平松 原爆ポスター展の開催を行う考えはないのか。

市長 今後検討していきたい。

平松 平和首長会議に参加すべきではないか。

市長 スケジュールが合えば参加する。

平松 市内行政機関の窓口には「ヒバクシャ国際署名」の署名コーナーを設置できないか。

市長 市民を代表して私が署名しているので、設置は考えていない。

平松 核兵器禁止条約締結に向けて国へ要請を行うべき。

市長 ささまざまな場面でやっている。

学童保育利用者に負担を求めるのは間違いだ

答弁： 学童保育を守るために理解してほしい



ここをききました 宮田 好夫議員

- ・高梁市地域公共交通網形成計画について
- ・高梁市文化センターの指定管理について
- ・学童保育について

学童保育の利用料の引き上げについて

宮田 慢性的な支援員不足とあるが、どのような状況なのか

健康福祉部長 現在直営の学童保育では3名不足している。来年度はさらに不足する状況にあり、維持することが難しい。

宮田 支援員の処遇改善とはどのような内容なのか。

健康福祉部長 賃金を保育士並みに上げるとともに、各学童保育を巡回してアドバイスや支援を行う人材を1名配置する。

宮田 支援員の勤務は平日午後の4時間程度なので人材に限られる。工夫して1日働けるようにすれば幅広く募集できるのでは。

健康福祉部長 午前中は他の部門で働き、午後から学童保育で働くことも考えたい。

宮田 幼児教育や保育の無償化など子育てを社会全体で支える動きが広がっている。処遇改善は理解するが、負担を保護者に求めるのは間違いではないか。

市長 国が示している目安は、公費負担が50%で利用者負担が50%である。そこまでは引き上げられないので、利用者負担として許容できるであろう5400円とした。負担率は約24%である。市として学童保育支援員の確保に本当に苦労している事を理解してほしい。

災害の全ての記録は災害対策・復興の指針となり必要ではないか

答弁： 市に相談に来られた方の記録以外は、把握していない



ここをききました 石部 誠議員

- ・平成30年7月豪雨災害について
- ・会計年度任用職員制度の導入について
- ・子育て世帯の負担軽減について

豪雨災害から何を学ぶか

石部 市は「被災者の生活再建」と言うが、罹災証明や支援制度の相談・受領者しか記録できておらず不十分ではないか。また、埋もれた被災状況などを発掘するためにも記録誌の発行を望む。

副市長 相談に来られた方の情報は持っているが、それ以外は把握していない。

政策監 記録誌の発行は行う。

会計年度任用職員制度 石部 この制度導入により現在市役所に勤務の約180人のフルタイム非正規職員の方が時短によるパートタイム勤務に移行する。「同一労働、同一賃金」が国の方針だが

副市長 本来国が責任を負うべきものである。

が、高梁市の一律の移行はこの精神に背き、働く方の不利益になる。また職場でも時短により市民対応に問題が出るのではないかと。

総務部長 職場対応については聞き取りも行い整理した。また臨時職員は補助であり、正規職員が責任を持って行う。

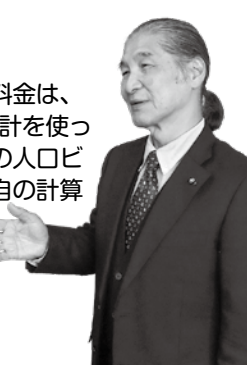
幼保無償化で負担増が発生

石部 高梁市では国の「幼児教育・保育の無償化」により負担が増えた家庭がある。他の自治体では市が負担しているところもある。高梁市での年間負担額はたかだか31万円なので市で負担できないか。

副市長 本来国が責任を負うべきものである。

市が策定する計画によって根拠となる想定人口が異なるのはなぜか

答弁： 将来の水道料金は、社人研(※)推計を使っている。市の人口ビジョンは独自の計算で推計している。



ここをききました 森上 昌生議員

- ・高梁市の将来図について
- ・平成30年7月豪雨災害への対応状況について

答弁に都合の良い数字を使っていないか

森上 平成30年12月議会の政策監の答弁では、(※)社人研の推定では高梁市の人口は2040年には約2万人だが、市の推計は2万5000人という回答だった。それが8月にあった全員協議会の水道料金の算定の際にはその2万人の数字を使っているが、こうしたことは市民の信頼を損なうのではないか。

政策監 水道の料金の試算は、平成30年の12月以降に検討し、人口を設定した。

森上 答弁に都合のよい数字を使うべきではない。

森上 法制度の問題が根本にある。所有者不明土地の発生を未然に防ぐ努力をしつつ、今後も重要な問題として考えるべきである。

所有者不明土地について

森上 所有者不明不動産の存在は、地域開発などの妨げになるのだが、市は実態をどのように把握しているのか。

産業経済部長 全ての相続人の把握は困難である。この問題は国がイニシアチブをとっていくべき。市も国と一丸となって問題解決に当たる。

森上 法制度の問題が根本にある。所有者不明土地の発生を未然に防ぐ努力をしつつ、今後も重要な問題として考えるべきである。

森上 法制度の問題が根本にある。所有者不明土地の発生を未然に防ぐ努力をしつつ、今後も重要な問題として考えるべきである。

(\*) 社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略。人口調査などさまざまな動態調査を行っている厚生労働省の研究所。



災害備蓄品に液体ミルクを加えるべきではないか

答弁：  
災害備蓄品として試験導入していきたい



ここを  
ぎきました  
川上 博司 議員

- ・食品ロス削減について
- ・学校給食について
- ・防災・減災対策について

防災・減災対策について

**市長** 乳児用液体ミルクは常温で保存でき、災害時には水や湯を使わずに使えるので大変貴重である。災害備蓄品に加えるべきではないか。

**市長** 現在、岡山市消防が進めているので、それを参考にしながら市でも統一していきたい。



ピクトグラムなら文字が読めない人にもわかりやすい

水がない場所でも使える液体ミルク

ごみ分別の一覧表を外国語や理解しやすい図などに工夫しては

答弁：  
中国語、インドネシア語に加えてベトナム語に対応した分別表を作成する



ここを  
ぎきました  
森 和之 議員

- ・防犯カメラについて
- ・外国人世帯のごみ分別について
- ・内水排除について
- ・学童保育について

内水排除について

**市長** 落合雨水ポンプ場整備事業の進捗状況はどうなっているのか。

**市長** 基本設計着手のタイミングを見ているところである。

**市長** 令和6年完成予定と聞いているが大丈夫なのか。

**市長** 県管理部分（豪渓秦橋から上流）の河川整備計画作成には約3年かかると聞いている。高梁川右岸の堤防整備は県の計画に基づいて進めて行かなければならないと考えている。

**市長** 落合地区は立地適正化計画でも居住誘導エリアに位置づけられている。しっかりと取り組んでほしい。

学童保育について

**市長** 支援員の処遇改善のために利用料金を値上するが、保護者から意見聴取をしたのか。

**健康福祉部長** 保護者への説明会を現在行っている。

**市長** 保護者からの意見を聴取した上で議会へ説明するのが本筋ではないか。

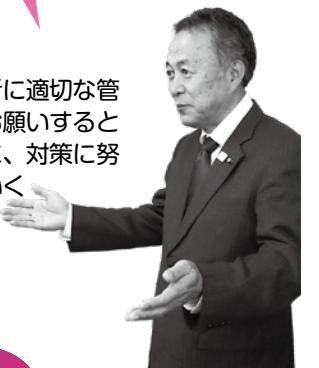
**健康福祉部長** 支援員の令和2年度就労希望を聞いたところ、6名の退職希望があった。切羽詰まった状況をご理解いただきたい。

**市長** 一人親世帯や低所得者、多子家庭に減免措置はあるのか。

**市長** 減免措置を考えている。

交通の支障となっている風倒木・支障木の対策は

答弁：  
所有者に適切な管理をお願いするとともに、対策に努めていく



ここを  
ぎきました  
三村 靖行 議員

- ・観光行政について
- ・公道の安全管理について
- ・平成30年7月豪雨災害について

観光行政について

**三村** 令和元年のアユは豊漁であったと聞く。本市の観光資源であるアユと、文化でもある伝統漁法を本格的に復活させ、高梁川を生かした観光施策を展開できないか。

**産業経済部長** 本市の特産品として広島マツタスタジアムでPR販売を行った。伝統漁法をコンテンツとして活用しながら観光商品の醸成に向けて検討したい。

**三村** 方谷林沿道の樹木が大きくなり見晴らしが悪い。市街地が望めるように伐採できないか。

**産業経済部長** 「方谷林を守る会」に定期的な清掃、草刈りをお願いしている。委託による維持管理の

公道の安全管理について

**三村** 市道の外側線・センターラインが経年により消えている箇所が多く見受けられるがこの現状をどのように考えているのか。

**市長** この問題は市内全域の重要課題であり、交通安全対策として順次直す。

**三村** 市民要望の多い市道環境の維持管理をスムーズに行うためには、専属の維持管理係を新設して対応すべきではないか。

**市長** 維持管理を行っていくには迅速に対応する仕組み、体制を検討していく必要があると考えている。

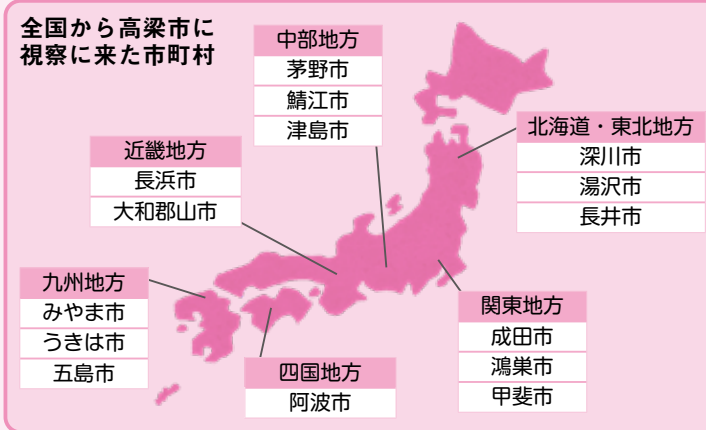
ようこそ  
高梁市へ!!

視察受け入れ報告  
全国から18市の視察研修を受け入れ

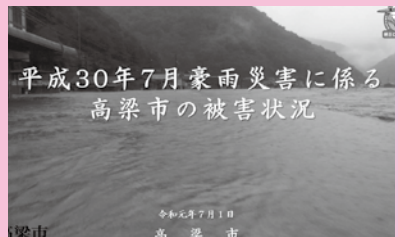
9月から11月までの3カ月間で18市の議会から視察研修を受け入れました。視察研修を受け入れるに当たっては、原則として市内での宿泊もしくは食事を条件としており、市内に経済効果が及ぶようにしています。



事務局での研修の様子



主な視察内容



平成30年7月豪雨災害について



移住・定住施策について



高梁市図書館について



3月の定例会スケジュール

3/4	水	本会議（議案の上程）
3/9	月	本会議（一般質問）
3/10	火	本会議（一般質問）
3/11	水	本会議（一般質問）
3/12	木	本会議（議案質疑）
3/16	月	委員会
3/17	火	委員会
3/18	水	委員会
3/25	水	採決

※3月議会への請願のしめ切りは  
2月27日までです。

※日程は変更となる場合があります。正  
式な日程は決まり次第、ホームページ  
でお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！  
有権者が求めることも  
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が  
選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝  
儀を出すことは禁止されています。  
市民から求めることも禁止です。



編 集

委員 委員 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長

伊藤泰樹 森和之 森上昌生 石部誠 宮田好夫 川上博司 石井聡美 石田芳生

議会広報公聴特別委員会



高梁川&成羽川しゅんせつ事業

平成30年7月豪雨災害からの復興が進んでいます

平成30年7月豪雨では、河川の土砂堆積による越水や氾濫により、甚大な浸水被害が発生しました。

議会では、河川しゅんせつ（土砂撤去）や立木の伐採を早急にすべきとの意見が多く、議員から出されました。

市も河川しゅんせつは重要事業との認識を持っていて、県では昨年度は10カ所、今年度は前年度からの継続の3カ所を含め14カ所で行っています。

さらに災害に備えて54カ所のしゅんせつを県に要望しつつあります。



議会報告会や市の復興計画の説明会でも多くの要望が寄せられていることから、執行部に確認すると地域局や地域市民センターなどからの情報をもとに状況を確認し、必要があれば県に要望していくとのことでした。

河川工事は流域の状況を把握した上で計画的に行わなければ効果が期待できません。来年度の出水期（6月から10月頃の川が増水しやすい時期）までには主要部分の事業を完了するよう、議会でも注意深く見守っていきます。

第41号の表紙について



中国電力玉島発電所屋上にて

津川学童保育利用者と指導者で中国電力玉島発電所に訪問しました。事務所の机の上には色々な発電機があり、児童は目を輝かせながら触っていました。

編 集 後 記

昨年は「議会報告会」も地域型と合わせて、市内の各種団体の皆さんと意見交換も行いました。また議会改革の一環として会派制の創設を行い、一会派（5人）の活動も始まりました。

あわせて「議会だより」は、手に取って読みたくなるような編集と、議会活動をわかりやすく伝えるために努力していますがいかがでしょうか？

さて今年は市長・市議会議員選挙の年、選挙は市民が直接市政にかかわることができるチャンスです。選挙に興味や関心を持っていただけたらと思います。また議会や議員へご意見ご要望は、お気軽にお寄せください。

（石部 誠）